



## 広報・広聴活動の推進について

作成年月日	令和 7 年11月17日
作成部局名	総務部秘書広報室広報広聴課

# 目次

## I 広報活動の推進

- 1 効果的な広報媒体の活用・・・・・・・・・・ 3
- 2 全庁広報力の充実強化・・・・・・・・・・ 9
- 3 県民が参画できる県広報基盤の確立・・・・・・・・ 12
- 4 パブリシティ活動の強化・・・・・・・・・・ 13

## II 広聴活動の推進

- 1 県政への意見・提言の把握・・・・・・・・・・ 14
- 2 相談体制の充実・・・・・・・・・・ 17
- 3 県庁見学の実施・・・・・・・・・・ 19



# I 広報活動の推進

## 1 効果的な広報媒体の活用

### (1) 県民への情報発信

#### ① 県広報紙「GOKOKU県民だより兵庫」(予算額 276,762千円)

「兵庫県のさまざまなことがわかり、兵庫県のことがもっと好きになる広報紙」をコンセプトに、フィールドパビリオンをはじめ、県政の多分野にわたる施策や事業、県内各地の魅力やイベント情報など県民生活に密着した話題を広く発信。

スマートフォンでも見やすいホームページを作成し、SNS広告で積極的に周知。

- 【規格】 タブロイド判 8 ページ (全面フルカラー)
- 【部数】 140万部
- 【発行】 年12回、原則毎月 1 日発行
- 【配布方法】 新聞折込、公共施設等への配架
- 【地域版】 1～7面は全地域共通、8面に県民局別の情報を掲載
- 【認知度】 47.2% (令和6年度第2回インターネット調査)
- 【その他】

- ・ デジタル展開

自治体広報アプリ「マチイロ」、デジタルブック「HYOGO ebooks」「マイ広報紙」などの電子書籍に掲載

- ・ ユニバーサル対応

点字広報紙「広報ひょうご」(650部)、音声による広報「愛の小箱」(CD500枚)を毎月発行



紙面例

## ② テレビを活用した情報発信

### ア 県民情報テレビ番組「ひょうご発信！」（予算額 71,585千円）

身近なTV放映の特性を生かし、県政や地域の魅力（フィールドパビリオン、観光スポット、特産品、地域で活躍する人等）をテンポよく分かりやすく紹介する情報番組を提供。

【日 時】毎週日曜日 8時30分～8時55分

【内 容】・フィールドパビリオンをはじめとする県の取組を分かりやすく紹介  
・県政情報や地域の魅力等を発信  
・県内各地の魅力を観光・グルメなど様々な切り口で紹介

【視聴率】3.8%（日本リサーチセンター調査（R7.7.6））



THAT'S FIPAVI



教えて！ひょうご

### イ ひょうごフィールドパビリオンプロモーション特別番組（予算額 4,697千円）

大阪・関西万博開幕の期間中に、フィールドパビリオンの認知度向上やシビックプライドの醸成を図る特別番組を提供。フィールドパビリオンプレイヤーの想いや兵庫五国の魅力をあわせて発信。

【番組名】ミルクボーイと市川親子が行くひょうごフィーパビ  
なんぼあってもええツアー

【放送日】R7.6.29（日） 21:00～21:54

【内 容】夏休みの家族旅行をテーマに、旅をしながらFPを体験





## ウ ラジオを活用した情報発信（予算額 8,188千円）

ラジオ番組内に兵庫県の情報コーナーを設け、県政情報やタイムリーな話題を発信。

### （ア）GO!HYOGO!

【日 時】毎月第2・第4水曜日 15時00分～15時20分

【番組名】ラジオ関西「Clip」内

【内 容】フィールドパビリオンを中心に、パーソナリティが県政情報を発信するコーナーを設置、パーソナリティによる現地取材やSNSによる告知を実施

### （イ）こちら知事室！

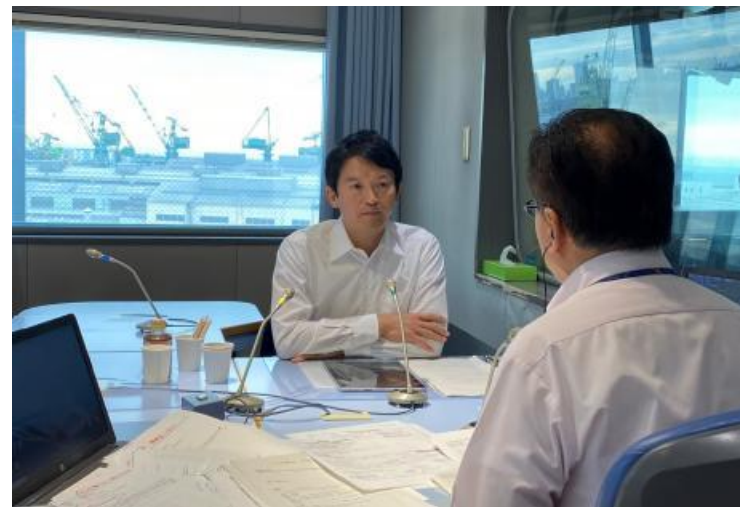
【放送日】毎月第2木曜日

【番組名】ラジオ関西「三上公也の朝は恋人」内で約25分間

【内 容】知事が出演するコーナーを設け、県政のタイムリーな話題を発信



【GO!HYOGO!】 Xにおける告知ポスト



【こちら知事室！】 収録風景

## (2) インターネットを活用した県内外への情報発信

### ① ホームページ（予算額 24,535千円）

主要施策や防災、イベント・観光などの県政情報全般を提供。災害等緊急時には、県政情報を発信しつつも緊急度、重要度が高い情報を目立たせる等、状況に応じて情報を分かりやすく発信。

#### 【アクセス数（単位：千件）】

	トップページ	総アクセス数
R3※	13,229	108,987
R4	6,703	63,745
R5	3,819	36,681
R6	4,286	38,003
R7.9月末	1,064	16,722

※R3はコロナ関連ページのアクセスが増加した



県ホームページ（トップページ）

## ② SNS (X(旧Twitter), Instagram)

速報性、双方向性、拡散性、掲載できる情報量の多さなどの特性を生かし、多様な県政情報等を、迅速かつきめ細かく発信。

### ア X (旧Twitter)

防災情報やイベント、観光情報などを毎日発信

【フォロワー数】103,138人 (R7.9月末)

### イ Instagram

県政に関する内容のうち、画像による発信効果が見込めるものや、文書では伝わりにくいもの等を発信

【フォロワー数】7,428人 (R7.9月末)



X (旧ツイッター)  
(@hyogokoho)



インスタグラム  
(hyogo\_koho)

## ③ 動画配信 (ひょうごチャンネル、YouTube)

### ア ひょうごチャンネル (予算額 1,980千円)

県政情報・県の魅力発信を行う動画サイト「ひょうごチャンネル」を運営。県YouTubeアカウントと連動し、アーカイブ動画配信、ライブ中継、動画素材を提供。

【動画登録数】 2,084本 (R7.9月末)  
【閲覧数】 約224万回 (R6)  
約 11万回 (R7.9月末)



ひょうごチャンネル



## イ 広報専門員による県政魅力発信動画（予算額 1,368千円）

フィールドパビリオンをはじめとした県の主要施策について、広報専門員が現場を体験・レポートする動画を制作し、ひょうごチャンネルで配信。

【配信回数】年5回程度

【番組内容】播州織（西脇）明延鉦山（養父）など（R6）

和菓子菓子体験(猪名川)、醸造体験(姫路)) など（R7）



広報専門員による制作動画

## ④ 音声配信（Podcast※） 新 （予算額 15,603千円）

音声配信コンテンツであるPodcastを活用し、福留光帆(元AKB48/尼崎市出身)が兵庫県職員と一緒に若者・Z世代支援施策をはじめとした県の施策を紹介。

【番組名】ヒョーゴ★トーク～福留光帆×兵庫県職員～

【期 間】R7.10月～R8.3月

【配信日】毎週火曜日 全20回／1回20～30分

【その他】予告編をYouTubeショート動画で配信



番組収録風景

※Podcast(ポッドキャスト)とは・・・インターネットを通じて音声データを配信するメディア。  
インターネットラジオの一種。

## ⑤ ニュース配信（スマートニュース）

日本最大のスマートフォン専用ニュース閲覧アプリである「スマートニュース」と県が提携し、記者発表資料を配信。



画面イメージ



## 2 全庁広報力の充実強化

### (1) 専門人材の設置 (予算額 11,293千円)

統一したコンセプトの下、個別施策に応じた広報戦略の方向性・総括的な助言指導を行うプロデューサー、広報手法の提案や編集・デザインに関する具体的な助言指導を行うディレクターを設置。

職種	内容	勤務形態
広報プロデューサー (1名)	個別施策に応じた広報戦略の企画・立案、広報物の品質向上に向けた指導の総括	3～4日／週
メディアディレクター (2名)	効果的な情報発信のための最適なメディア選択や発信方法等への指導・助言	2日／週
デザインディレクター (1名)	ポスター、チラシ、動画等のデザイン向上に向けた指導・助言	2日／週

### (2) 主要事業への助言

ひょうごフィールドパビリオンや若者・Z世代支援事業など各部局の主要事業等に対して、広報プロデューサー等が助言を行い、戦略的な広報活動を支援。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7.9月末
支援件数	263	565	630	679	736	424

### (3) 県民との協働による情報発信力強化 (予算額 4,000千円)

県の魅力や県政情報について、一般県民や学生の参画を得て県民目線での情報発信を行うエディターズ倶楽部を発足。(R6)

【メンバー】 県広報に興味がある県民41名

※フリーライター、カメラマン、企業の広報担当、市広報担当者、学生など

【内容】 広報プロデューサー等が効果的な広報ノウハウやSNS発信のコツ等を講義  
県内各地の魅力や県政情報取材して記事を作成し、各種広報媒体（県HP等）で発信

## 【専門人材による広報支援事例】

### ひょうごフィールドパビリオン

視覚に訴えるロゴ・キャッチコピー制作、HPや動画等を組み合わせたメディアミックスによる効果的な発信手法について指導・助言。



【ロゴ】  
県の地形をベースにSDGsを想起させる配色で多彩な魅力表現

【ホームページ】  
各プログラムの内容紹介等についてストーリー性のある展開を提案



【動画】  
各地域を五感・時間軸でイメージできるストーリー展開を提案

### 新しいお米！コ・ノ・ホ・シ

ネーミング、ロゴ制作の段階からプロジェクトに参画し、指導・助言。



【ロゴマーク】  
「空」と「稲穂」と「土」を過度なデザインはせずシンプルに表現。

【ボディコピー】  
品質と産地のアピールではなく、ストーリー性をアピールし、温暖化と戦ってきたプロジェクトや、消費者の共感を得る「食べるSDGs」を伝えることを意識。

### リメンバー117

震災を経験していない学生が自分たちの言葉で考え作り上げるメディアづくりを提案し指導。

【タブロイド紙】  
記事のインタビュー・原稿作成はエディターズ倶楽部のメンバーが協力。



## (4) 職員向け研修の実施

広報プロデューサー、ディレクターが講師となり、県職員や外郭団体、事業関係者向けの研修を実施。

	R2	R3	R4	R5	R6	R7.9月末
研修回数	7	10	17	26	23	16
研修受講人数	444	813	799	1,199	981	372

### 【主な研修（R 6）】

研修名	対象	研修内容
新任職員研修	新規採用職員	広報相談事例等を紹介しながら、県民目線に立った自治体広報のあり方や広報の重要性について講義
県民局広報担当者研修	県民局職員	県民だより地域版や県民局HPの効果的な活用方法について好事例を紹介しながら解説
県立社会教育施設 広報担当者研修	県立美術館、 博物館等職員	施設で開催する企画展やイベント等の効果的な広報について事例紹介を交えて解説
市町職員向け研修	市町広報担当職員	自治体広報のあり方やHP、SNSの効果的な活用方法について県の事例等を紹介しながら解説
部局別広報力向上研修	企画部、 農林水産部	部局の特色を踏まえた広報のあり方や同部局の事例を紹介しながら解説

### 3 県民が参画できる県広報基盤の確立

#### (1) 「兵庫五国連邦（U5H）プロジェクト」の展開（予算額 6,345千円）

県民による投稿を軸に、ふるさと意識の醸成や県内外との交流推進を図ることを目的に、様々な切り口で本県の魅力を発信するコンテンツを展開。

また、庁内各部局と連携し、健康づくりや県産食材の認知度向上といった各種施策について、U5Hを活用した情報発信を実施。

##### ①「県民協働型広報」の展開

県民からの投稿を基本に地域への誇りや愛着心の醸成、交流推進を目指した取組を展開。身の回りで感じた五国の魅力などをテーマにしたことわざを募集。（R 6）



U5Hことわざ辞典

##### ②庁内他施策との連携

県産の新品種米「コ・ノ・ホ・シ」が流通し、県内でより一層お米の注目度が高まることが予想されることから、産官学の連携で、お米の魅力と「ひょうご相思相米プロジェクト」を県民に発信する「白米LOVE」を展開。（R 7）



白米LOVE



## (2) 「ヒョーゴアーカイブス」の運営

兵庫の過去と現在の姿を県民とともに保存・活用し、未来に伝えていくwebサイトを運営し、ふるさと意識の醸成や五国の多様で豊かな魅力を発信。

【コンテンツ数】 写真790点、動画88点（R7.9月末）

- 【活用事例】
- ・兵庫津ミュージアム企画展「未来へつなごう！万博展」での展示
  - ・TV局、鉄道会社のキャンペーン広報での映像利用
  - ・兵庫県大気汚染監視システムのパンフレットでの利用



ヒョーゴアーカイブス トップページ



イベント：万国博兵庫展ひらく（摂津）

## 4 パブリシティ活動の強化

### (1) 定例会見による発信

県施策のタイムリーな情報発信、報道機関からの幅広い質疑の機会として原則週に1回開催。

手話通訳の導入、インターネットライブ中継により多くの県民に県政情報を適時・適切に発信。

### (2) 行事と連動したプロモーションの実施

知事の囲み取材への対応、視察現場や会議の公開、報道番組への知事自らの出演、各担当課によるPRなど、取材の機会を増やし、積極的なパブリシティ活動を実施。

## Ⅱ 広聴活動の推進

### 1 県政への意見・提言の把握

「県民ボトムアップ型県政」を推進するため、多様なチャンネルを通じて県民とのコミュニケーションを確立。

#### （1）県民意識調査（予算額 1,229千円）

県民の価値観や行動志向、県政へのニーズなど県民意識の基本的な経年変化を大きな潮流として捉え、県の政策形成、施策運営に反映。

【調査対象】県内在住の18歳以上の者 5千人（無作為抽出）

【毎年調査項目】

- ア 生活満足度
- イ 生活向上感
- ウ 震災に対する意識
- エ 地域活動への参加実績
- オ 県政への関心

#### 【R6 調査】

年次テーマ	県民の食育に対する考えと実践状況
目的・活用方法	「健康ひょうご」の実現を目指し、食の安全安心と食育に関する条例第6条に基づく「食育推進計画（第4次）」（計画期間：令和4年度～令和8年度）が計画終期を迎えることから、県民の食の健康づくりを中心に生活習慣の実態を把握し、必要な対策を明確化するとともに、計画改定の基礎資料とする。
実施時期	R7.10.1～10.29

## (2) 県民モニター

施策や事業の立案等に県民の意見を活かしていくため「県民モニター」を一般募集し、県民に身近な課題についてインターネットを利用して意見を聴取。

- 【対 象】 県内在住・在勤・在学で県政に関心を有する18歳以上の者
- 【人 数】 2,246人（R7.9月末）
- 【任 期】 当該年度内（再任可）
- 【活動内容】 web上でアンケート調査に回答



### 【令和7年度調査】

回	調査テーマ	調査結果の活用	実施期間
1	観光について	さまざまある課題に柔軟に対応するため、「ひょうご新観光戦略」の中間見直しに活用する。	R7.5.16 ～5.26
2	福祉のまちづくりの推進について	福祉のまちづくりに関する各種施策の推進など県民意識を把握し、「福祉のまちづくり基本方針」の改定に活用する。	R7.7.18 ～7.28
3	消費生活と特殊詐欺に関する意識調査	県民の消費生活に係る意識や実態を把握し、「ひょうご消費生活プラン」の改定に活用する。また、日頃の防犯意識などを把握し、特殊詐欺被害を防止するためのより効果的な啓発手法を検討する。	R7.10.3 ～10.13
4	防災に対する意識と取り組みについて	防災対策の効果的な推進及び県民の防災意識の高揚を図るため、県民の防災・減災に対する認識及び取り組みの現状を把握する。	R8.1月予定

### (3) さわやか提案箱

県の業務の改善・検討等を進める参考とするため、県政に関する意見や提案を電子メールで受付。

(件数)

年度	意見・提案等	簡易な照会	計
R2	13,567	7	13,574
R3	6,525	10	6,535
R4	2,474	41	2,515
R5	1,957	54	2,011
R6	14,713	47	14,760
R7.9月末	3,946	40	3,986

設問1 お名前を入力してください。(回答を要する場合は必須)

設問2 ご住所を入力してください。(回答を要する場合は必須)

設問3 性別を選択してください。

☐男
☐女
☐答えたくない

設問4 年齢を選択してください。

☐10代以下
☐20代
☐30代
☐40代
☐50代
☐60代
☐70代以上

設問5 E-mailを入力してください。(回答を要する場合は必須)

設問6 ご意見（自由記述）を入力してください。(1000文字以内)

送信確認 リセット

送信フォーム（県HP）



## 2 相談体制の充実

### (1) さわやか県民相談（予算額 69,674千円）

兵庫県民総合相談センター、各県民局・県民センター、広報広聴課に相談員を配置し、専用電話（フリーダイヤル等）、面談などにより、県民の県政に対する意見・要望や日常生活に係る相談事案などに対応。

#### 【相談体制】

配置場所	県民局・県民センター	県民総合相談センター	広報広聴課	合計
相談員	15人	3人	2人	20人

#### 【利用状況】

（件数）

年度	照会	相談	意見	苦情	その他	合計
R4	7,331	3,735	1,050	589	1,775	14,480
R5	6,979	4,531	1,137	889	960	14,496
R6	6,456	5,235	8,582	3,818	1,117	25,208
R7.9月末	3,459	2,341	3,168	827	722	10,517

## (2) 兵庫県民総合相談センター (予算額 20,897千円)

県政に対する意見、要望から生活一般に関する悩みごとまで、県民から寄せられる相談等に幅広く対応。そのため、各種専門相談窓口を同センター内に併設するとともに、相談内容に応じて、県や国、市町の所管部署を案内するなど、相談業務の総合調整機能を充実。

### 【相談窓口及び利用状況】

(件数)

相談窓口	R3	R4	R5	R6	R7.9月末
さわやか県民相談	3,190	2,869	2,994	3,732	1,699
法律相談	150	147	202	242	115
家事（家庭問題）相談	32	34	36	42	32
認知症・高齢者相談	335	384	351	292	175
外国人県民相談	3,737	4,264	3,551	3,347	1,568
交通事故相談	491	407	337	367	172
国の行政相談	6	15	2	9	6
合 計	9,927	9,863	9,249	9,866	3,767

**そうや!**  
**兵庫県民総合相談センター**  
に聞いてみよう

Please don't hesitate to call us!  
(Hyogo Prefectural Information and Advisory Service) ★ (for foreign residents in Hyogo)

**2025 (令和7) 年度 兵庫県の総合相談窓口**

兵庫県民総合相談センターは、県政やくらしの困りごとについて専門の窓口等をご案内する総合相談窓口です。お気軽にお電話ください。経験豊富な相談員がお待ちしております。  
また、県内各地の県民局・県民センターとも連携し、法律相談・家事（家庭問題）相談などの専門相談（テレビ電話相談含む）を行っています。

県政へのご意見・ご要望やくらしの困りごとなど  
**さわやか県民相談** 県政へのご意見・ご要望やくらしの困りごとなどについて、さわやか県民相談員が対応（内容によって、専門の相談窓口をご案内）

日常生活上の法律問題等  
**法律相談** 日常生活上の法律問題等について、弁護士が助言（当センターへの来所相談、県民局等でのテレビ電話相談）

離婚や相続のトラブル等  
**家事（家庭問題）相談** 離婚や相続のトラブル等について、元家庭裁判所調停委員が助言（当センターへの来所相談、県民局等でのテレビ電話相談）

高齢者と家族が抱える認知症・介護・虐待等  
**認知症・高齢者相談** 認知症・介護・虐待等に関する悩みごとに「認知症の人と家族の会」会員と相談員が助言

話し合いの仕方、保険請求の方法等  
**交通事故相談** 交通事故に遭った時の話し合いの仕方や保険請求の方法等について、専門相談員が助言

医療やくらしなど、外国人の生活に関すること  
**外国人県民相談** Consultation for foreign residents in Hyogo  
英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・やさしい日本語で相談員が助言。その他の言語は外部連携を利用

国の行政に対する要望、苦情、相談等  
**国の行政相談** 国の行政に対する要望、苦情、相談等について、行政相談委員が対応

**兵庫県民総合相談センター**  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号  
神戸クロスタワー6階（JR神戸駅徒歩5分）  
TEL 078-360-8511  
FAX 078-360-2898

兵庫県民総合相談センター 検索

### 3 県庁見学の実施（予算額 6,697千円）

県庁を訪れる小学生等を対象に、災害対策センター、県警本部等を案内するとともに、県勢や県の仕事を紹介し、郷土学習意欲の向上及び県政への理解を促進。

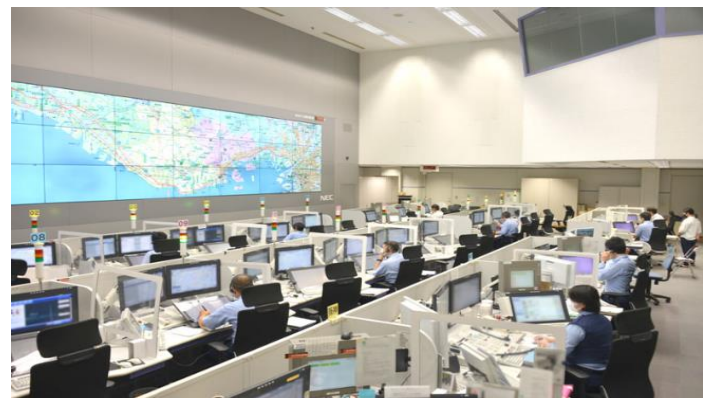
#### 【実施状況】

年度	小学生		一般団体		合計	
	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）	団体数	見学者数（人）
R4	108	4,226	19	537	127	4,763
R5	108	4,917	34	1,077	142	5,994
R6	112	5,032	33	988	145	6,020
R7.9月末	23	859	18	474	41	1,333

#### 主な見学場所



災害対策センター



兵庫県警察本部



兵庫県